

「豊田工業高等専門学校における特許紛争劇」

いつどこで？

令和元年12月4日（水）、豊田工業高等専門学校（豊田市）において、日本弁理士会東海会の教育機関支援機構による「特許紛争劇」が上演されました。

どんなイベント？

教育機関支援機構の委員7名が知的財産出前授業として行いました。参加者は、豊田工業高等専門学校の学生や教職員、同校の講座を受講している企業勤務者のうち、希望した方が参加されました。

どんな雰囲気？

まず、新規性や進歩性、先願主義など特許に関する基本知識について、前説が行われました。メモを取るなど皆さん熱心に聞いている様子でした。



前説が終わると、紛争劇が始まりました。最初のうちは、慣れない特許の話のせいか参加者の皆さんに若干固い雰囲気も感じられました。しかし、演者の大きなリアクションやだじゃれを入れたセリフによって場が和み、段々と劇に引き込まれていく様子でした。

また、皆さんの理解を手助けするため、所々で劇を中断して特許出願の時系列や特許侵害の争点の説明を入れながら、劇が行われました。さらに、ただ説明するだけでなく考えてもらう時間をとりました。参加者の皆さんは、周りの方と意見を出し合い、中には自ら挙手して回答する方もいました。



劇が終わって

紛争劇が終わり質疑応答に移ると、特許法に関する鋭い質問も飛び出しました。皆さんの特許に対する理解や関心の高さに驚きました。

最後に、「日々の業務の中で特許を考えるきっかけになる貴重な機会を頂けた、とても面白い劇でした」とのお礼の言葉をいただきました。

東海会の活動が特許に対する意識の向上に役立ちそうで、嬉しく思いました。

東海会 広報企画委員会委員
弁理士 舟橋 康裕